

【研究概要】

近年、疲労についての客観的な評価方法、疲労と抗疲労に関する測定・分析方法が徐々に確立されつつあるが未だに疲労に対する画一的な治療方法はない。そこで疲労度を交感神経と副交感神経のバランスを測定することで客観的に評価、さらに生活環境、睡眠、精神的なストレスなどについて問診票を用いて主観的に評価し治療前後で疲労がどのくらい改善するのかを研究したいと考えた。